



National Diet Library 2019

採用案内



あなたので、過去を未来に。

2018(平成30)年、設立から70年を迎えるにあたって、国立国会図書館は一つの標語を掲げました。それは、「過去を読み、未来を読む。」です。現在国立国会図書館が所蔵する4300万点を超える資料は、いずれも貴重な文化的資産であり、これを保ち、未来に伝え、文化の発展に資することはこの図書館の重要な役割です。

国立国会図書館は、1948(昭和23)年に設立された国会の一組織です。そして、国立国会図書館法には次のように記されています。

「真理がわれらを自由にするという確信に立つて、憲法の誓約する日本の民主化と世界平和とに寄与することを使命として、ここに設立される。」(国立国会図書館法前文)

この使命を果たすための主要な機能に、1. 国会活動の補佐、2. 資料・情報の収集・保存、3. 情報資源の利用提供、があります。

1. 信頼できる資料・調査によって国会の諸活動を補佐する
2. 国内外の資料・情報を収集し、体系的に整理し、長期に保存する
3. 立法府のほか、行政・司法、一般公衆にも、利用目的にかなった情報資源を提供する

これらを機能させるために、国立国会図書館は中期ビジョン「ユニバーサル・アクセス2020」を定めました。情報環境の急速な進歩や社会状況の変化に対応する際にも、図書館には「ユニバーサル(普遍的)」な視点が必須と考えるからです。時間も空間も超え、過去の文化資産を未来にいかし、人々の多様な在り方に配慮しつつ、唯一の国の図書館としてその使命を果たし続けて行く必要があります。

専門分野にとどまらない柔軟な思考力を有し、豊かな未来を描いて挑戦する意欲をもった方々がこの図書館でその力を発揮されることを期待しています。

国立国会図書館長

羽入 佐和子



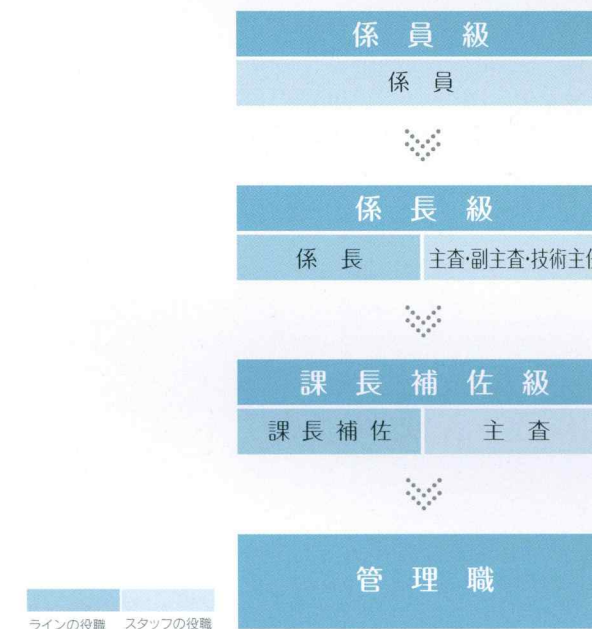
国立国会図書館職員の概要

国立国会図書館は立法府に属し、国会、行政・司法の各部門及び一般公衆に対して幅広いサービスを提供しています。国立国会図書館の業務は調査業務・司書業務・一般事務に分けられ、総合職試験、一般職試験での採用者はこれら三つの業務の様々な仕事を担います。職員の身分は国会職員(特別職国家公務員)で、東京本館(東京都千代田区永田町)、関西館(京都府相楽郡精華町)又は国際子ども図書館(東京都台東区上野公園)で勤務します。職員の定員は888名(平成30年4月現在)です。

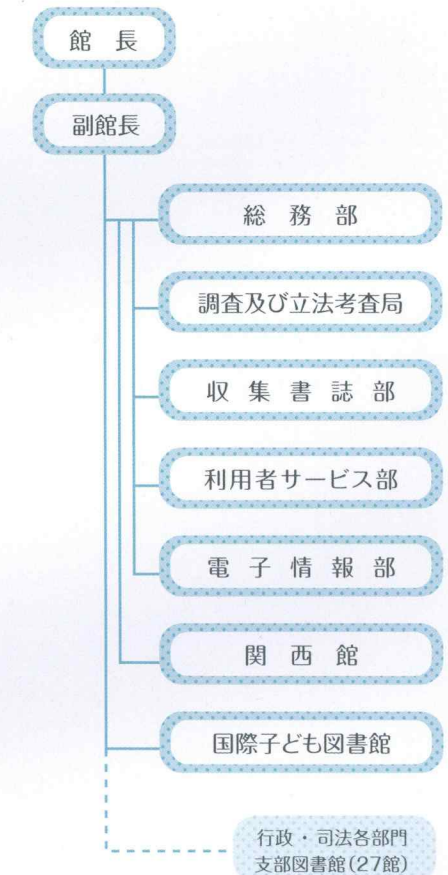


キャリアパス

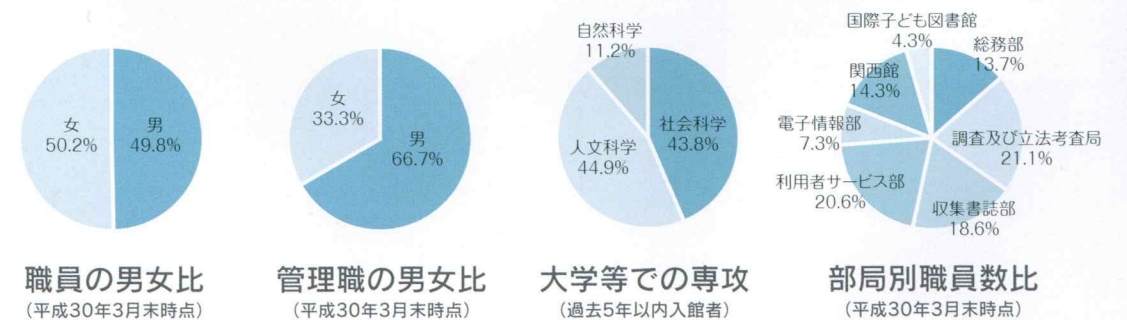
国立国会図書館の職員は、定期的な異動によって様々な部署や業務を経験し、多様なキャリアを歩みます。学歴、専攻に関わらず、職員の適性や希望等を考慮して、配属先を決定します。総合職試験採用者と一般職試験(大卒程度)採用者の間に職務内容の差はありません。



組織図



職員統計



部局紹介

調査及び立法考査局

国会の立法活動を補佐するため、国会議員その他国会関係者に対して、法案等の分析・評価、国政審議に係る政治、経済、社会等各般の調査及び情報提供を行います。
また、国会情報・立法情報への国民のアクセスを助け、国会と国民とをつなぐ役割も果たします。

調査及び立法考査局政治議会課 主査

加藤 慶一 H15入館(Ⅱ種)

- Career
H15. 4～ 総務部人事課
H16. 10～ 同 総務課
H19. 4～ 調査及び立法考査局国会レファレンス課
H19. 10～ 同 調査企画課
H20. 4～ 同 財政金融課
H28. 4～ 出向(衆議院法制局)
H30. 4～ 調査及び立法考査局政治議会課
- Profile
学生時代の専攻/法学
仕事の必需品/大型のホチキスとハンチ。
ページの多い文献を読む際にはばらけないように、また、読み終わったものを効率よくファイルに綴ることができるように。
休日の過ごし方/掃除、洗濯等の家事をこなし、気候のよい時期には近場の公園や行楽スポットに出かけて写真を撮ったりしています。



MESSAGE

専門的知見をいかし国会を補佐する

私が所属する政治議会課は、議会、内閣、政党、選挙等の分野に関する専門的な調査を担当しています。国会議員等からの依頼を受けて行う調査では、当館所蔵資料その他の膨大な文献の中から適切な情報を見出し、分かりやすく整理して回答します。また、中長期的なものを含む国政上の課題について国内外の関連文獻を読み込んだ上で論文にまとめ、刊行するという形の調査も行っています。
調査業務には、期限が短く瞬発力が求められるものがある一方、落ち着いたじっくりと取り組むことができるものもあります。論文の執筆は骨の折れる仕事ではありますが、国会議員から自分の論文について面談による説明を求められるなど、専門知識が国会審議に役立っていると実感できた時には大変やりがいを感じます。
国内外に出張する機会もあります。私の場合、オーストラリアの官庁や大学を訪れて現地調査を行った経験があるほか、類縁機関との業務交流のため韓国にも出張しました。普段の業務よりも一層刺激的で、特に印象深く記憶に残っています。また、他機関へ出向の機会もあり、私は衆議院法制局に2年間在籍しました。議員立法の現場により近いところに身を置いた経験は、今後の調査業務はもちろん、さらに広い視野に立つて当館の業務を担っていく上でも、大変有意義であったと思います。

「この制度はこういう経緯で導入されたのか」、「外国にはこんな仕組みがあるのか」。調査員の仕事は日々、発見と驚きの連続です。豊かな知的好奇心と地道な調査をやり抜く粘り強さを持った方、ぜひ私たちと一緒に働きませんか。

海外での業務・調査研究

1～2年海外の大学院等に職員を派遣する長期在外研究、数週間から数か月海外の図書館や研究機関等に職員を派遣する短期在外研究のほか、国際会議への出席や現地での図書館事情、政策課題に関する調査などの海外出張の機会があり、若手の職員から管理職員まで、年間約50名の職員が海外での業務・調査研究の機会を得ています。



職員を対象とした調査業務研修で講師を担当



日韓業務交流に参加



日課の新聞チェック

◎ある1日のスケジュール DAY SCHEDULE

- 8:45 登庁、メールチェック
- 9:00 全国紙の朝刊をチェック
- 9:30 午後の議員へのレクチャー(*)について調査結果を課長に報告
- 10:00 課長の指摘を回答文書に反映し、想定していた口頭説明の内容も一部修正
- 11:00 明日締切りの調査依頼について書庫で資料調べ
- 12:00 同僚と昼食
- 13:00 議員会館でレクチャー。追加の資料を提供するよう指示を受ける
- 14:30 法令議会情報の調査方法に関する局内の研修に参加
- 15:30 英国の議院内閣制に関する論文の執筆
- 16:30 レクチャーの際に指示された資料を配送担当者に託し、秘書に報告
- 17:30 全国紙の夕刊をチェック
- 17:45 各種調査の締切りを確認し、退庁

(*) 調査結果を文書にまとめるなどした上で、その内容を議員に対して直接口頭で説明すること。

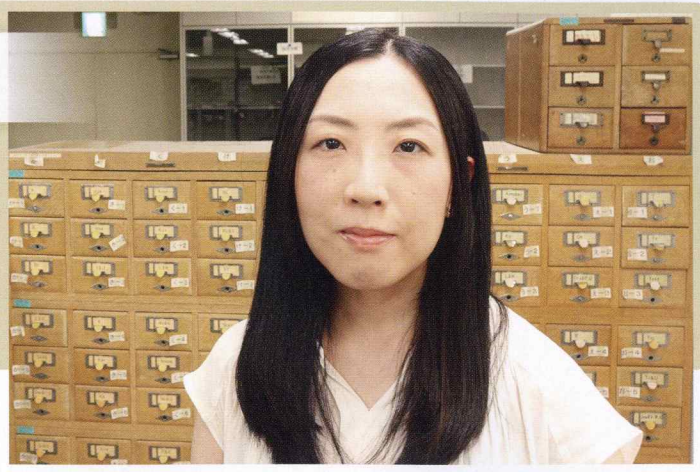
収集書誌部

納本制度に基づく国内出版物の網羅的な収集、購入や国際交換による外国出版物等の収集から、書誌データや典拠データの作成・提供といった資料整理、そして資料を恒久的に後世に伝えるための資料保存までを担います。

MESSAGE

収集、整理、保存…図書館の「礎」

皆さんは納本制度をご存知でしょうか。責任ある公的機関への出版物の納入を発行者等に義務付ける制度のことで、日本では当館がその運用を担っています。この制度のおかげで、当館には毎日、国内で発行された出版物が大量に届けられます。そしてそれらは、現在と未来の多くの読者のために、日本の文化的資産として永く保存されます。
私は収集書誌部で納本制度の運用に係る企画・調整を担当しています。目下の課題は、電子書籍の普及等により、出版物を取り巻く環境が大きく変化の中で、納本制度や、それを補完する制度を組み合わせ、よりよい資料収集の在り方や運用を考えることです。難しい課題ですが、将来にわたって、できるだけ多くの資料を継承できるよう、知恵を出し合っています。
収集書誌部の前は、利用者サービスや国会サービス、会計契約に関する業務も経験しました。当館には図書館と聞いてイメージする以上に様々な業務がありますが、いずれの場合も、若手の頃から主体的に考えて行動する機会がある職場だと思います。皆さんも一緒に働いてみませんか。



収集書誌部収集・書誌調整課 課長補佐
佐藤 菜緒恵 H13入館(Ⅱ種)



納本される出版物が図書館に到着したところ



上司、同僚と打合せ

- Career
H13. 4～ 逐次刊行物部複写課 (H14.4 資料提供部複写課に組織再編)
H16. 4～ 総務部会計課
H19. 7～ 調査及び立法考査局議会官庁資料課 立法情報係長(H20.7～)
H22. 7～ 国会レファレンス課 連絡調整係長
H24. 7～ 利用者サービス部サービス企画課 情報サービス企画係長(H25.4～)
H29. 4～ 収集書誌部収集・書誌調整課 課長補佐
- Profile
学生時代の専攻/文学
好きな本/『掌の小説』川端康成、『新釈 走れメロス』森見登美彦、『ことりつ』シリーズ。
休日の過ごし方/早起きして朝ごはんを食べに出掛ける「ノアサ」が理想です。

電子情報部

情報技術を用いた国会議員への調査サービス・情報提供サービスの充実のほか、国内外の誰もが利活用可能な「知識インフラ」の構築を目指します。
また、業務の基盤となるネットワークやシステムの管理を担います。

MESSAGE

コミュニケーションを通じてシステムを作り育てる

電子情報サービス課は、情報システムの企画・開発業務を担当しています。当館では様々なシステムを開発し、公開していますが、その中でも、情報を収集し、整理し、利用者に届けるという当館の使命を最もよく体現しているのが、国立国会図書館サーチ(NDLサーチ)です。NDLサーチは、全国の図書館、公文書館、美術館・博物館等の資料を統合的に検索できるサービスです。私は、NDLサーチの企画段階から携わり、現在も開発、運用等を担当しています。
意外に思われるかもしれませんが、システムの開発や運用を担う上で最も重要な能力は、コミュニケーション能力です。開発委託業者から報告を受け、内容を検討した上で作業指示を出す。NDLサーチが連携する外部システムの担当者、各種の調整を行う。システムを継続的に改善していくために、同僚と様々な議論を交わす。仕事の大部分は、そういったコミュニケーションで成り立っています。
情報システムを作り育てることは、当館が提供するサービスのあるべき姿を日々考え、具現化していくことです。皆さんもそのような仕事をしてみませんか。



電子情報部電子情報サービス課 課長補佐
小澤 弘太 H7入館(Ⅱ種)



開発中のシステムについて同僚と議論



NDLサーチトップページ (http://iss.ndl.go.jp/)

- Career
H 7. 4～ 逐次刊行物部雑誌課
H10. 4～ 調査及び立法考査局財政金融課
H13. 4～ 同 国会レファレンス課
H14. 4～ 主題情報部科学技術・経済課 経済社会係長(H15.4～) 企画運営係長(H19.4～)
H21. 4～ 総務部情報システム課 システム第一係長(H22.4～)
H23.10～ 電子情報部電子情報サービス課 課長補佐
- Profile
学生時代の専攻/経済学
志望動機/図書館に育てられていた自分がある、という想いからです。知識・情報で人を強くすることに貢献したいと考えていました。
趣味/映画鑑賞 (一番好きな映画監督はサム・ペキンパー) 音楽鑑賞(主にロック) 旅行(特に好きな旅行先は韓国)

部局紹介

利用者サービス部

資料や電子情報を用いて利用者に図書館サービスを提供します。東京本館における資料の閲覧、複写、レファレンスといった館内利用サービスの提供と来館せずに利用できる遠隔利用サービスの提供を担います。また、調べものに有用な参考資料などの情報をホームページ上で発信しています。

利用者サービス部複写課 主査

中島 幸子 H14入館(Ⅱ種)

- Career
H14.10～ 資料提供部複写課
H18. 4～ 主題情報部科学技術・経済課 (H23.10 利用者サービス部科学技術・経済課に組織再編)
育児休業 (H20.6～H23.4)
H26. 4～ 利用者サービス部科学技術・経済課 企画運営係長
H28. 4～ 同 複写課
- Profile
学生時代の専攻/生命環境科学
仕事の必需品 / 「国立国会図書館法規集」です。法規集に立ち回り、確認することがよくあります。
休日の過ごし方 / 息子と遊びます。先日は、盆栽美術館に行ってきました。



MESSAGE

資料利用の最前線で、新たな文化の創造を支援する

私の所属する複写課は、その名の通り、当館所蔵資料の複写/コピーに関するサービスを担当する部署です。東京本館の本館・新館にある複写カウンターでは、利用者の皆様の複写のご希望を、正確に複写作業(当館は複写作業を業者委託しています)に伝えるために、複写申込みが著作権法の範囲内であるか等の申込み内容の確認を行っています。しかし、当館所蔵資料は膨大で、マイクロフィルムやデジタル資料等もあり、種別・形態も様々です。典型的に判断できないケースもあり、複写申込みの著作権に関する確認作業には日々悩まされています。

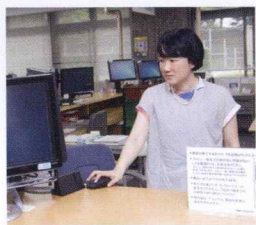
当館所蔵資料の複写物を、出版物やホームページへの掲載、テレビでの放映などに利用する場合、当館への許可申請が必要です。その許可手続きについても担当しているのですが、当館所蔵資料が広く利用され、新たな文化を生み出す素材になっていることを実感します。この他、課内の庶務業務として、事務用品の管理、休暇申請の処理、事務連絡の周知なども担当しています。課の職員が様々な業務をスムーズに行えるような場を作る業務であり、とても重要です。

勤務時間の本則は9時から17時45分までですが、「ある1日のスケジュール」にもあるように、私は育児のため、登庁と退庁の時間を早めています。当館には様々な勤務時間制度があり、子どもの年齢、通学状況に合わせて、自分の勤務時間を選択することができます。育児をしながら働く同僚も多く、とても協力的で恵まれた職場です。

国立国会図書館では古典籍から最新の書籍・電子情報まで膨大な所蔵資料の様々な知識に触れる機会を得ることができ、上司や同僚からも多くの刺激を受ける職場です。育児中でも、自分を高める機会があります。国立国会図書館で働いてみませんか!

育児と仕事の両立

育児休業、育児短時間勤務、保育時間、育児時間、早出遅出勤などの制度があり、多くの職員が育児と仕事を両立させています。平成28年6月からはフレックスタイム制が導入され、より多様な働き方が可能となりました。平成29年度の育児休業等取得率は、女性職員100%、男性職員77.8%です。



複写カウンターでの複写受付



職員の子どもの対象とした職場見学会で、息子と当館の図書を見学



ある1日のスケジュール

- 7:50 登庁
- 8:00 メールチェック、マニュアル整備
- 9:00 庶務業務
- 9:30 朝礼(複写カウンターでの注意事項などを課内で共有)
- 9:35 掲載・放映など許可申請手続き、複写カウンターからの問合せ対応
- 10:30 係打合せ
- 11:15 昼休み
- 12:00 複写カウンターに入り、複写申込みの受付業務
- 16:00 複写カウンターから戻り、各種業務を行い、引継ぎ事項を係内に報告
- 16:30 業務終了、退庁

ここでは、カウンター当番のある日のスケジュールをご紹介しますが、1日中事務室で働く日もあります。

総務部

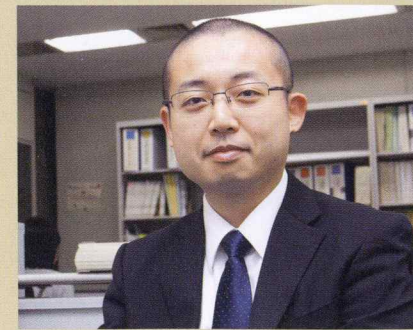
組織を円滑に運営するため、館の方針の企画・立案、予算と執行の管理、庁舎の管理、人事の管理といった事務のほか、行政・司法各部門の支部図書館や国会との連絡調整などの業務を担います。

MESSAGE

組織の未来像を定める場に参画

当館の将来計画策定に関して、検討に必要な基礎的情報の調査や会議の設営など、策定作業をスムーズに進めるための業務を主に担当しています。自分の作成した資料が当館の今後の方向性の決定に用いられることに、責任とやりがいを感じます。総務部では組織全体に関わる企画・調整・支援といった業務をしており、巨大な図書館の動きに間近で参画できるのが醍醐味だと思います。

また、企画課の前は2年間会計検査院に赴任していました。検査の相手方との厳しい交渉など不安で辛い部分もありましたが、異なる組織文化の中に身を置くのは非常に新鮮な経験でした。担当していた案件が最終的にまとまり、帰宅後ニュース番組で報道されているのを見ながら飲んだビールの味は忘れられません。



上司と打合せ

総務部企画課 主査 安井 一徳 H17入館(Ⅰ種)

- Career
H17. 4～ 主題情報部科学技術・経済課
H19. 4～ 総務部会計課
H22. 4～ 収集書誌部収集・書誌調整課 収集企画係長 (H22.7～)
H24. 4～ 調査及び立法考査局社会労働課 出向(会計検査院)
H26. 4～ 総務部企画課
H28. 4～ 総務部企画課 企画係長
- Profile
学生時代の専攻/教育学
志望動機 / 大学で図書館情報学を専攻し、図書館で働くという事に興味を持ったのがきっかけです。



事務室にて、中国語資料の書誌作成

関西館

けいはんな学研都市に位置し、科学技術関係資料やアジア関係資料等特色ある資料の収集・整理・保存・提供を行います。また、遠隔利用サービス、図書館員対象の研修等の図書館協力事業、資料の電子化等の電子図書館事業の拠点となります。

MESSAGE

特色ある資料を提供し、新たな事業の拠点となる

私は大学で中国語を専攻しましたが、入館後は色々な部署で語学力をいかす機会に恵まれてきました。調査及び立法考査局では国会議員からの依頼に基づき中国に関する調査に携わり、利用者サービス部では外国人利用者への対応にあたりました。現在のアジア情報課では、中国語資料の選書から書誌作成、所蔵資料の管理、レファレンス、中国に関する資料紹介文の執筆といった幅広い業務に取り組んでいます。また、内外の他機関との連携に関する業務も多く、海外の図書館との交流など国際的な仕事ができる機会もあります。国立図書館である当館にはさらに幅広い業務がありますから、自分に合った仕事が見つかると思います。好奇心旺盛な皆さんと一緒に働けるのを楽しみにしています。

関西館アジア情報課 副主査 山本 彩佳 H23入館(Ⅱ種)

- Career
H23. 4～ 調査及び立法考査局国会分館
H23. 9～ 同 外交防衛課
H26. 4～ 利用者サービス部 サービス運営課
H28. 4～ 関西館アジア情報課
- Profile
学生時代の専攻/言語学
志望動機 / 海外の図書館との交流など、語学力をいかした仕事ができそうだったから。
休日の過ごし方 / 美術館めぐり。特に東洋の陶磁器を見るのが好きです。

国際子ども図書館

上野公園に位置し、「子どもの本は世界をつなぎ、未来を拓く!」の理念のもと、児童書専門図書館、子どもと本のふれあいの場、子どもの本のミュージアムの三つの役割を担っています。

MESSAGE

児童書の魅力、読書の楽しさを発信する

児童サービス課では、小学生以下の子ども向けの「子どものへや」「世界を知るへや」、中学生・高校生向けの「調べものの部屋」を運営しています。閲覧サービスだけでなく、「おはなし会」や「調べものの体験プログラム」など、子どもと本をつなぐための実践を行っており、子どもたちと日常的に関われることがこの仕事の魅力です。また、国立の児童書専門図書館として、実践で得た知見を児童サービス関係者へ還元していくことが大切な課題の一つとして挙げられます。目の前の子どもたちとの一期一会の出会いを大切にしつつ、より広い視点を持って児童サービスの在り方を考えていくことには難しさも感じますが、やりがいのある仕事です。熱意ある皆さんと働ける日を楽しみにしています。



閉館後の排架整頓



中高生向け調べものの体験プログラム

国際子ども図書館児童サービス課 係員 小熊 有希 H24入館(Ⅱ種)

- Career
H24. 4～ 調査及び立法考査局 国会レファレンス課
H27. 4～ 電子情報部システム基盤課
H29. 4～ 国際子ども図書館児童サービス課
- Profile
学生時代の専攻/芸術学
仕事の必需品 / 「日本十進分類法 新訂10版」です。「子どものへや」や「調べものの部屋」では公共図書館と同じ日本十進分類法で資料を分類しており、資料の受入作業には本書が欠かせません。

管理職からの メッセージ Message



専門と業務との関わり

国立国会図書館の特徴の一つに、職員のバックグラウンドの多様性があります。採用試験の専門科目は、社会科学系、人文系、理科系から選択できます。職員は、専門的な知識や考え方をいかしつつ、専門にこだわりすぎない柔軟さを持って、業務に取り組んでいます。個人的な経験ですが、理科系出身の私の話をしましょう。

当館の所蔵する膨大な図書や雑誌には当然科学技術関係のものも含まれますから、司書部門で働いていた時期には、専門知識を直接いかすことのできる場面もありました。一方、調査及び立法審査局に異動し、国会向けの調査を行うようになってからは、知識そのものよりもむしろ、培ってきた客観的な物の見方や科学的な思考法が、情報の収集・整理・分析や調査報告書作成の際の大きなアドバンテージになったと感じます。また、調査の過程では法令の条文を読み解かなければならない場面もあり、法学専攻ではない身にとっては努力が必要だったのですが、苦痛ではありませんでした。他の理科系出身者を見て思うのですが、法令はいわば理屈で書かれているので理科系と相性が良いのかもしれない。管理職になってからも、データを収集して分析するスキルは業務改善等に役立っています。



国会議員等を対象とした政策セミナー

印象に残る仕事

調査及び立法審査局では、議員からの依頼に基づく調査のほか、今後国政上の課題となりそうなテーマについての自発的な「予測調査」を行っています。予測調査には個人で行うものと局横断的なプロジェクトとして行うものがありますが、後者について特に印象に残る仕事があります。

一つは、平成14年度に行われた主要国における緊急事態への対処に関する調査の一環として、北欧等の緊急時の食料供給確保策について現地調査を実施したことです。当時、外国の当該政策についての情報は多くなく、「何がわかればこの問題がわかったと言えるのか」を考え抜く必要があるなど準備に苦労しましたが、この経験は調査員としての私の核になりました。調査結果は冊子にまとめられ、平成16年には、衆議院農林水産委員会に参考人として招致され、内容の一部をご説明しました。

もう一つは、平成22年度に初代の科学技術室長となり、「科学技術に関する調査プロジェクト」を管理・運営したことです。当館の調査員と外部の有識者や専門機関が連携するこれまでにない方式の調査であり、特有の難しさがありましたが、改善すべき点は次のサイクルに反映させ、このプロジェクトの型のようなものを作っていました。

メッセージ

当館には、このほか電子図書館関係やシステム関係の仕事もあります。

理科系に限らず専門的な勉強を頑張った人ほど、当館への就職には異業種への転職のようなハードルの高さを感じるかもしれません。しかし、当館で新たな分野に取り組む中で自分の強みを発揮できることもあるのです。ぜひ当館を選択肢として検討してください。

調査及び立法審査局総合調査室付主幹、調査企画課長事務取扱

森田 倫子 H1入館(II種)

●Career

- H 1.10～ 専門資料部科学技術資料課
- H 4. 4～ 図書部図書整理課
分類係長(H8.4～)
主題第二係長(H9.12～)
- H11. 4～ 調査及び立法審査局農林環境課
- H19. 7～ 出向(衆議院調査局)
- H21. 7～ 調査及び立法審査局国会レファレンス課
課長補佐
- H22. 4～ 同 文教科学技術課科学技術室長
- H25. 4～ 同 経済産業調査室付主任調査員
- H26. 4～ 同 農林環境課長
- H28. 4～ 同 国会レファレンス課長
- H29. 4～ 同 総合調査室付主幹、国会レファレンス課長事務取扱
- H30. 4～ 同 総合調査室付主幹、調査企画課長事務取扱

●Profile

学生時代の専攻 / 生物化学
 仕事の必需品 / 大型英語辞書が好きです。今はネットもありますが、特に翻訳をするときは、より良い訳文を考えるために引き比べます。
 趣味 / ベランダガーデニング。
 永遠の初心者ですが緑も花もなごみます。

国立国会図書館職員に求められる「専門性」

国立国会図書館ではあらゆる分野の資料・情報を扱っています。幅広い領域にわたる国政課題の分析には、科学技術や統計を含む様々な知識が必要とされます。また、社会科学、人文科学、自然科学の様々なテーマについてレファレンス回答や資料の紹介を行うためには、各分野の専門知識を持つことが求められます。近年は、電子情報サービスにも注力しているため、ITに関する知識をいかす場も増えています。

そのため、国立国会図書館では、どのような分野であつても、大学等で培った専門性をいかす機会を得られます。一方で、担当業務に合わせて新たな専門性を高める必要もあるので、研修に参加したり自主的な勉強会を開催したりするなど、知識の習得に積極的な職員も多くいます。



国会議事堂を望んで



公共的な情報サービスの最前線

入館以来、様々な業務を経験しましたが、直近に担当した業務をご紹介します。

この2年間は、科学技術・経済・社会・教育・スポーツ分野のレファレンスサービスと外国資料の選書等を担当しました。レファレンスサービスとは、利用者がお探しの情報(源)を効率よく入手できるようにお手伝いするサービスのことで、インターネットで膨大な情報にアクセスできる時代になりましたが、検索エンジンだけで必要な情報をうまく見つけられるわけではありません。インターネット上の様々なツールを使いこなす技能が必要です。また、そもそもインターネットでは得られない情報もたくさんあります。当館の強みは納本制度に基づき収集・蓄積した過去から現在に至る幅広い情報資源と充実したデータベースです。主題に関する専門知識とツールを使いこなす情報探索技能に基づいて、利用者の多様な情報ニーズを満たすことがレファレンスサービス担当者の醍醐味です。今後、電子書籍が普及すれば、全文検索の時代が到来します。より広く深く、知のストックを縦横無尽に探索して幅広い情報ニーズに応えることが私たちの任務となるでしょう。

また、当館は、戦後間もないころから国の科学技術振興の一環として、科学技術関係資料の収集に力を入れてきました。この間、紙の雑誌は電子ジャーナルに姿を変え、誰もがインターネットでアクセスできるオープンアクセスの論文も増えました。科学技術情報の流通形態が変わり、また、オープンサイエンスに見られるように科学の在り方自体が転換期にある中で、当館の役割も変化が求められます。この課題を専門的な立場から調査審議していただくために、館長の諮問機関である審議会を設けており、その運営事務も担当しました。日本の知を代表する学識経験者と接する得がたい機会に恵まれ、啓発されました。



科学技術情報整備審議会の様子

知識情報空間としての図書館施設

図書館を構成する資源は、人、予算、資料、情報システム、施設の五つです。このうち施設の整備と運用管理が現在の担当業務です。当館は、永田町の東京本館庁舎だけで延床面積が15万㎡近くある大きな公共施設です。利用される皆様の安心・安全を守るために、施設の運用管理に専門職員が奔走しています。また、当館では書庫を確保するために施設を順次拡張してきました。現在も関西館の書庫棟の増築工事を行っています。一方、東京本館施設は建設から半世紀が過ぎ、老朽化が進んでいます。科学の在り方が変わり、学びの形が変わる中で、これからの知識基盤社会を支える知識情報空間である図書館施設の新しい姿を考えることも現在の仕事です。

メッセージ

図書館の仕事は、人々が求める資料や情報の入手をサポートする公共的な情報サービスです。今後、デジタルへのシフトが進み、「館」としての図書館の姿は変わってしまえば、知識や情報の重要性が増す社会において、公共的な情報サービスもまたその重要性を増すことでしょう。情報サービスを担う図書館員には、高度で幅広い主題専門知識と情報探索技能、そして対人サービスに必要な接客スキルが今後ますます求められます。対人サービスの難しさもありますが、その分やりがいがあります。仕事を通じて生涯学ぶことができるのも図書館の魅力です。情報サービスの未来と一緒に考えてくださる方をお待ちしています。

総務部管理課長

竹内 秀樹 H5入館(I種)

●Career

- H 5. 4～ 逐次刊行物部複写課
- H 6.10～ 調査及び立法審査局商工科学技術課
- H11. 4～ 総務部会計課
予算係長(H12.4～)
- H14. 4～ 関西館事業部図書協働課 調査情報係長
- H17. 7～ 収集部外国資料課 国際交換係長
- H18. 4～ 総務部企画課
課長補佐(H19.4～)
- H21. 4～ 同 情報システム課 課長補佐
- H23.10～ 電子情報部電子情報サービス課長心得
課長(H24.1～)
- H26. 4～ 同 電子情報流通課長
- H27. 4～ 収集書誌部付主任司書
- H28. 4～ 利用者サービス部科学技術・経済課長
- H30. 4～ 総務部管理課長

●Profile

学生時代の専攻 / 経済学
 仕事の必需品 / ノートパソコンとノート、それにボールペンです。メモを取ることが仕事の基本です。
 趣味 / 山にハイキングに行くことです。専ら日帰りコースですが、最高のストレス解消法でもあります。

出向・人事交流

外部機関での経験により視野を広げ、国立国会図書館での業務に役立てることを目的として、国や地方公共団体等の諸機関と出向・人事交流を行っています。また、実務研修として、公共図書館との研修交流も行っています。

<近年の主な出向先・実務研修員派遣先>

会計検査院	衆議院調査局
衆議院法制局	参議院法制局
工業所有権情報・研修館	宮城県図書館
福島県立図書館	京都府立図書館



管理課事務室のデスクにて

若手職員 の声

入館2~3年目の
職員14名に聞きました!



東京本館 南口にて

やりがいを感じたとき

国会議員等から依頼された調査に回答する仕事をしています。自分の調査回答について国会で言及されたときと知ったときにとってもやりがいを感じました。

／調査及び立法考査局・24歳女性(入館2年目)

利用者の方の検索支援やレファレンスをして「ありがとう」と言われたとき。ささいなことでも人の役に立つ仕事ができているのだと感じます。

／利用者サービス部・25歳女性(入館2年目)

ある美術館の展覧会で自分が貸出しに携わった資料が展示されているのを見たとき、資料を利用してもらうのも大切な業務だと実感しました。

／利用者サービス部・26歳女性(入館2年目)

書誌データ作成を通して様々な分野の図書に触れることができ、自分自身の知識の世界が広がっていくことを実感したときにやりがいを感じます。

／収集書誌部・30歳男性(入館2年目)

自分が調達に関わった機器やシステムが館内で活用されているのを見聞きすると、図書館サービスに間接的にでも携われている気がして嬉しく思います。

／総務部・24歳男性(入館3年目)

「昔読んだあの本を探している／もう一度読みたい」というお問合せに、子どもの本がもつエネルギーと当館に寄せていただいている信頼を実感しています。

／国際子ども図書館・25歳女性(入館3年目)

関西館で図書館員向け研修を担当していた頃、参加者から「自館ではできないので国立国会図書館が頼りだ」と言ってもらえ、責任とやりがいを強く感じました。

／利用者サービス部・26歳男性(入館3年目)

1年以上準備してきたシステムのリニューアルが無事に完了したとき。「以前より分かりやすくなった」と言ってもらえてホッとしました。

／電子情報部・26歳男性(入館3年目)

国立国会図書館職員を志望する方へ

パソコンは苦手じゃない方がいいと思います。システムに強いと重宝されます。

／関西館・23歳男性(入館2年目)

日々業務に携わっているだけで勉強になる職場であり、向学心にあふれた職員が多い職場です。素敵な職場ですよ!

／調査及び立法考査局・24歳女性(入館2年目)

いわゆる図書館らしい仕事だけでなく、今の仕事はイベントの準備やポスターのデザインなど幅広い業務があるので、色々な経験がいかせます。

／国際子ども図書館・25歳男性(入館2年目)

※国立国会図書館ホームページ「採用情報」では、職員採用試験合格者(採用予定者)のアンケート・合格体験記として、合格者の志望動機や試験対策を紹介しています。

入館して驚いたこと

日本で唯一の納本図書館というイメージが大きかったのですが、国会の補佐機関としての役割が重要視されていることが分かりました。

／収集書誌部・23歳女性(入館2年目)

想像していたよりも、入館前に身につけた知識をいかす場があることです。例えば語学能力が国会サービスにいきる機会は少なくありません。

／調査及び立法考査局・24歳女性(入館2年目)

いわゆる「図書館っぽい」物静かな人だけでなく、様々な方面に突出した個性的な職員が多いことです。

／総務部・25歳女性(入館2年目)

やってみたら改善したいことを自由に提案できる環境であること。特に係内での意見交換が活発で驚きました。

／利用者サービス部・25歳女性(入館2年目)

早い段階から一人で取材対応や見学の案内、関係機関会議への参加などを任せてもらえることが多いと感じました。

／国際子ども図書館・25歳男性(入館2年目)

館内にプログラムを書いて実験できる仕事があるとは思いませんでした。周囲の皆さんがとても親切で、何でも教えてもらえることも驚きました。

／電子情報部・26歳男性(入館2年目)

今後の目標

いま、情報アクセスのために図書館が果たすべき役割は大きく変わりつつあると思います。その変化を少しでもよいものにしてできるような仕事がしたいです。

／収集書誌部・23歳女性(入館2年目)

私の周りの上司や先輩方は、若手でも萎縮することなく働きやすい雰囲気を作り出してくださっています。私もそのようになりたいです。

／総務部・25歳女性(入館2年目)

色々な仕事を覚えて業務に対する視野を広げたいと思いますが、特に調査研究系の仕事を得意にしていきたいと思っています。

／電子情報部・26歳男性(入館2年目)

子どもにも大人にも必要な資料・情報に出会う確かなサポートができるようになること、「国立」「国会」図書館としての広い視野を身につけることです。

／国際子ども図書館・25歳女性(入館3年目)

「この仕事に関わりたい!」という想いに過度にこだわることなく、その場その場で頑張れる職員になりたいです。

／調査及び立法考査局・26歳男性(入館3年目)

司書資格と語学の勉強をしたいと思っています。どちらも国立国会図書館の職員として身につけたいものですし、どの部署でも役に立つと考えています。

／利用者サービス部・26歳男性(入館3年目)

好奇心旺盛な人にとっては、新しいことを学ぶ楽しさを感じられる職場です。学んだことをいかして誰かの役に立つ喜びを実感できる職場でもあります。

／利用者サービス部・26歳女性(入館2年目)

図書に触れる仕事以外にも様々な業務があるので、幅広く興味を持つ心を大事にして欲しいと思います。共に働ける日を楽しみにしています。

／収集書誌部・30歳男性(入館2年目)

利用者サービスから調査、総務に至るまで当館には様々な業務があります。誰でもそれぞれ自分に合った仕事が見つけれられるのが当館の魅力だと思います。

／総務部・24歳男性(入館3年目)

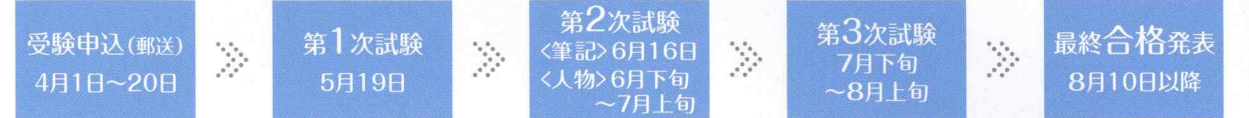
採用情報

国立国会図書館職員になるには

国立国会図書館の職員は、独自の採用試験により採用しています。

最終合格者は即採用予定者となり、官庁訪問にあたるものではありません。また、受験にあたって、司書資格は必要ありません。

★採用スケジュール (平成30年度)



★試験方法 (平成30年度)

※専門試験科目は、受験申込み時に以下から1科目を選択

法学(憲法、民法、行政法、国際法から受験時に2分野選択)、政治学、経済学、社会学、文学、史学(日本史、東洋史、西洋史から受験時に1分野選択)、図書館情報学、物理学、化学、数学、工学・情報工学(工学全般、情報工学から受験時に1分野選択)、生物学

	総合職試験	一般職試験(大卒程度)	時間
第1次試験	教養試験(多肢選択式・共通)		120分
第2次試験	英語試験(記述式・共通)		60分
	専門試験(記述式・共通)※		90分
	専門試験(記述式)※		30分
	小論文試験		60分
第3次試験	人物試験(個別面接)		
	人物試験(集団討論)		

★採用実績

※一般職試験(大卒程度)の採用者には、総合職試験特別申込者を含む。

※()内は女性の数。

		年度	H25	H26	H27	H28	H29
総合職試験	申込者数	608	577	494	531	536	
	(289)	(262)	(226)	(227)	(241)		
	採用者数	3(2)	4(1)	4(0)	3(2)	4(2)	
一般職試験(大卒程度)	申込者数	866	717	741	863	978	
	(520)	(419)	(437)	(530)	(572)		
	採用者数	12(4)	12(6)	17(8)	14(9)	16(10)	

◎国立国会図書館ホームページ「採用情報」

専門試験等の過去の試験問題、大学・予備校等及び館内での業務説明会の開催日程等の採用情報を随時掲載しています。

URL: <http://www.ndl.go.jp/jp/employ/index.html>

採用後の処遇

身分

国会職員(特別職国家公務員)

※勤務条件等は一般職の国家公務員とほぼ同様です。

給与

給料は一般職の国家公務員の給料に準じた額となります。給料のほかには6月期、12月期に期末・勤勉手当が支給されます。また、通勤手当、扶養手当、住居手当、超過勤務手当等が支給されます。

勤務時間

本則は午前9時から午後5時45分まで(休憩60分を含む) また、ワーク・ライフ・バランスに配慮して、育児短時間勤務、保育時間、育児時間、早出遅出勤務、休憩時間変更措置、フレックスタイム制等の制度を導入しています。

勤務地

(東京) 国立国会図書館東京本館(東京都千代田区永田町)

国立国会図書館国際子ども図書館(東京都台東区上野公園)

(京都) 国立国会図書館関西館(京都府相楽郡精華町)

※官署間の異動、東京と京都間の転勤があります

寮・宿舎

東京勤務者のために、東京都渋谷区に代々木上原寮(独身者用)があり、京都勤務者のために、京都府相楽郡精華町に京都宿舎があります。

研修制度

国立国会図書館では勤務年数・職級に応じて全職員が受講する階層別研修や職務上の必要に応じて受講するテーマ別研修など様々な研修を実施し、職員のスキルアップをサポートしています。また、外部の機関が実施する研修に参加する機会もあります。

階層別研修

- ※新規採用職員研修(入館後5日間程度)
- ※職員基礎研修(入館2年目・3年目職員対象)
- ※3級研修(係長級昇任職員対象)
- ※5級研修(課長補佐級昇任職員対象)
- ※新任管理職研修
- ※管理職研修(第II期)(管理職昇任3年目職員対象)

テーマ別研修

- ※語学研修
- ※IT研修
- ※メンタルヘルス研修
- ※調査業務研修など、各部局で行われる研修など

国立国会図書館の外で行う研修

人事院、総務省、国立情報学研究所などが主催する研修に参加

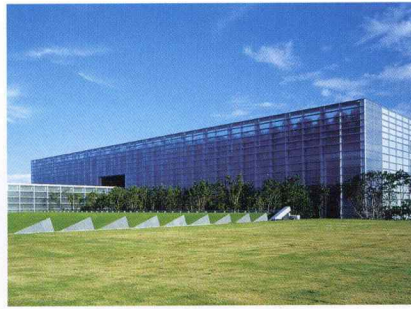
国立国会図書館へのアクセス



東京本館

東京都千代田区永田町1-10-1

- 東京メトロ 有楽町線「永田町」駅2番出口(徒歩約5分)
半蔵門線・南北線「永田町」駅3番出口(徒歩約8分)
千代田線・丸の内線「国会議事堂前」駅1番出口
(徒歩約12分)



関西館

京都府相楽郡精華町精華台8-1-3

- JR学研都市線「祝園」駅・近鉄京都線「新祝園」駅から
奈良交通バス「国立国会図書館」停留所(所要時間:約10分)
- 近鉄けいはんな線「学研奈良登美ヶ丘」駅から
奈良交通バス「国立国会図書館」停留所(所要時間:約15分)



国際子ども図書館

東京都台東区上野公園12-49

- JR「上野」駅公園口(徒歩約10分)
- 東京メトロ 日比谷線・銀座線「上野」駅7番出口(徒歩約15分)

お問合せ先

国立国会図書館総務部人事課任用係

住所:〒100-8924 東京都千代田区永田町1-10-1

電話:03(3506)3315(直通)

03(3581)2331(代表) 内線20420

E-mail:saiyo@ndl.go.jp

URL:<http://www.ndl.go.jp/jp/employ/index.html>